

# 授業の導入の様子を確認し合い、 教科指導力を高める教員研修における ICT 活用

A:校内研修 I 型(日常的に行う研修)

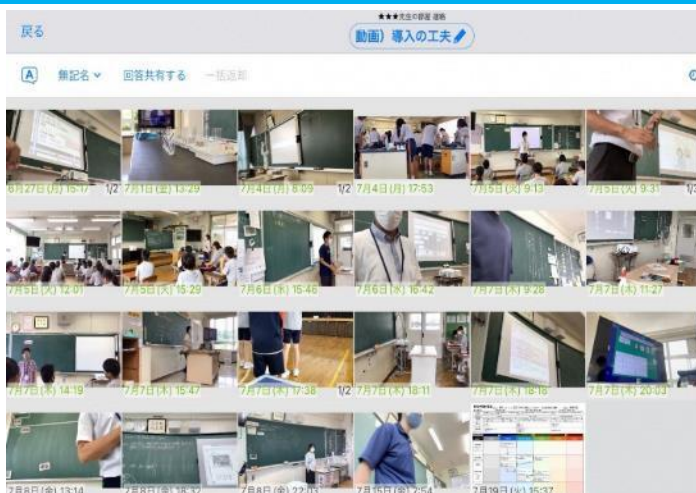
このような教員の姿が生まれました!

- ICT の活用方法も含め、他の教員と授業づくりを交流し、自身の指導改善につなげる姿が増えました。
- 放課後に自主的に教科部で集まり、導入の仕方について話し合う姿が増えました。

## 「一人一人が教科指導力を高める研修」を効果的に行う ICT の活用

生徒が課題意識と解決までの見通しをもつ  
授業の導入の仕方を動画撮影し、各教科部  
で話し合う。

- ・ ロイロノートの提出箱を活用して、授業の導入の様子を撮影した動画を共有する。
- ・ 提出した動画を教科部ごとに分かれ、確認し合い、課題意識と解決まで見通しがもてる導入になっているかを話し合う。



### 教科指導力を高める研修のポイント

- 実際の授業の様子を基に、各自が日々実践している授業導入の現状を把握し、改善する機会を設ける。
- 授業の導入時の振り返りを行うことで、導入時における願う子どもの姿を引き出すために効果的であるかを確認する。

## 「一人一人が教科指導力を高める研修」を終えて



生徒が課題意識と解決までの見通しをもつ導入のポイントを教科部で話し合い、実践する。

- ・ 「既習内容とのズレに自分たちで気付いたときの課題意識の高さが生徒の表情や意欲の高さが分かるね。」
- ・ 「実際に実験器具を組んだものを見せて、それを操作しながら、説明した方が伝わりやすくないかな。」
- ・ 「やってみたい、確かめてみたいと生徒が思うような課題設定をするにはどんなことに気を付けたらいいかな。」
- ・ 「課題追究の生徒の動き出しの姿を見ると差があるから、一人一人の表情を見て全体に問い返していくことが大切だな。」
- ・ 「お互いに授業をしているので、なかなか他の先生の授業は見るができないけれど、こういう形で生徒の姿を見ながら授業づくりの交流をまたやっていこう。」



### 教科部会での話し合いのポイント

- 提出された動画を見た際に、本時の課題や手順など見通しがもてるものになっているかを確認し合う。
- 提出箱を随時共有しておき、他教科の教員の導入動画も見られるようにしておくことで、自身の実践の参考にできるようにする。